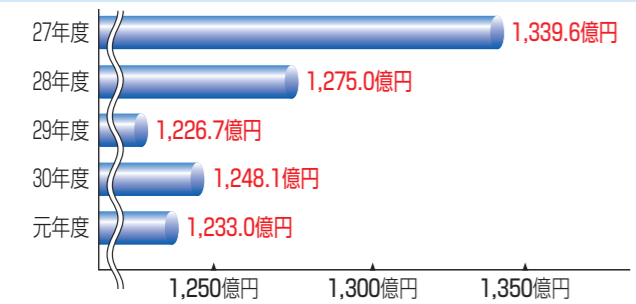


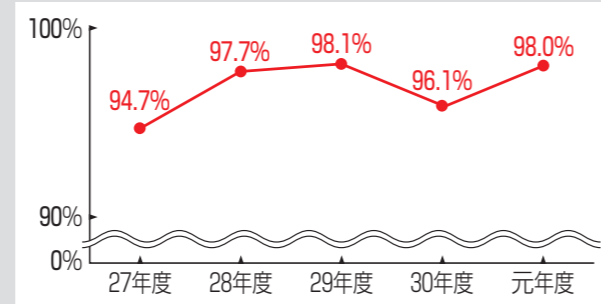
市債残高の推移(一般会計)

市債の残高は家計においてローンの残高に例えられます。将来負担を軽減させるため、残高を減少させていくことが大切です。元年度は呉市営プール等整備事業や片山中学校建設事業の終了などにより、30年度よりも借入残高は減少しています。



経常収支比率の推移

市の通常の収入のうち、定期的な支出に使われる割合は98.0%。家計に例えると100万円の収入のうち約98万円が食費やローンの返済などの経常的な支出に使われていることとなります。この数値が高くなるほど臨時的な支出に対応しにくくなり、元年度は前年度より1.9%高くなりました。



元年度特別会計の決算額

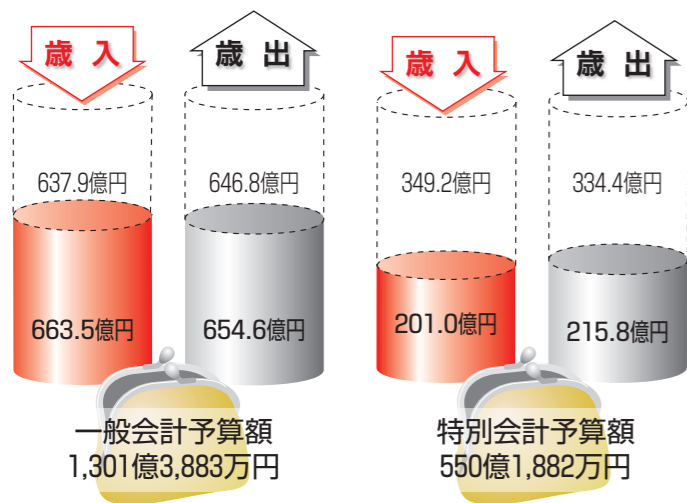
特別会計は特定の事業を行うために、一般会計とは別の財布を設けてお金の管理をしています。特別会計の収支が悪化すると、それをカバーするために一般会計から特別会計へ繰り出すお金が増加する場合があります。そのため、一般会計の過度の負担にならないよう、各特別会計の財政状況の健全化に努めています。

特別会計	歳入	歳出	令和2年度へ繰り越したお金	手元に残るお金
国民健康保険事業(事業勘定)	241億4,006万円	237億2,255万円	0円	4億1,751万円
介護保険事業(保険勘定)	224億5,783万円	222億3,474万円	0円	2億2,309万円
後期高齢者医療事業	39億1,105万円	37億4,070万円	0円	1億7,035万円
港湾整備事業	9億2,110万円	9億2,108万円	2万円	0円
臨海土地造成事業	31億2,550万円	31億1,888万円	0円	662万円
集落排水事業	6億494万円	6億494万円	0円	0円
その他の特別会計	6億8,638万円	5億2,734万円	0円	1億5,904万円
合計	558億4,686万円	548億7,023万円	2万円	9億7,661万円

2年度の予算執行状況

(9/30現在)

※両会計とも、今後開会される市議会で予算額を変更する場合があります。



市債・一時借入金の状況

市債の現在高

一般会計	1,171億1,619万円
特別会計	187億6,893万円

※一時借入金は、9/30現在ありませんでした。

市民一人当たり(人口218,777人)

一般会計	535,322円
特別会計	85,790円

市の財産

() 内は前年同時期

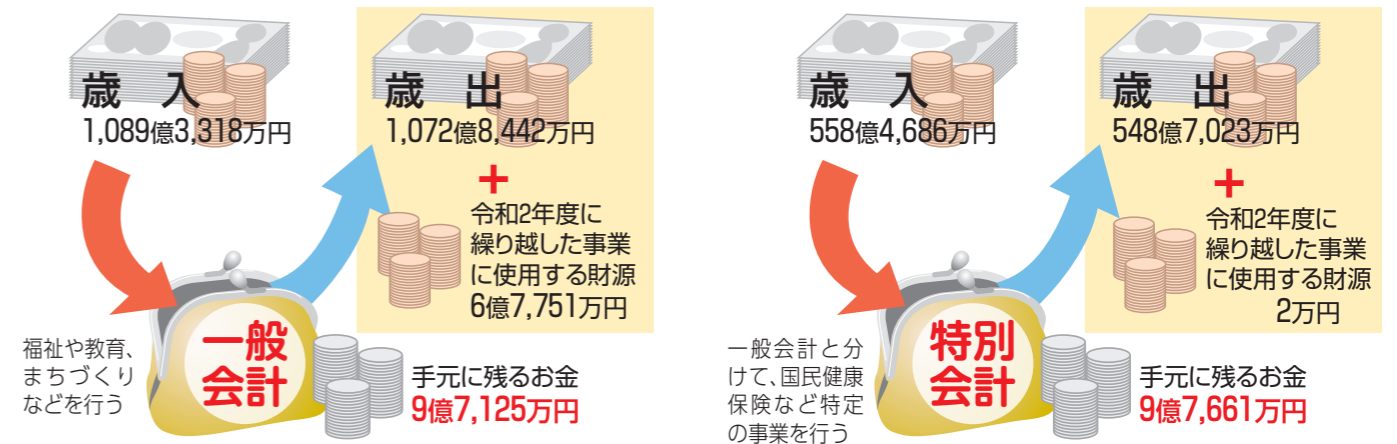
土地 27,197,765㎡ (27,311,263㎡)	建物 1,205,376㎡ (1,203,454㎡)
有価証券 3,910万円 (3,910万円)	基金 170億4,375万円 (170億4,703万円)

呉市の家計簿

令和元年度決算や令和2年度上半期予算の執行状況をお知らせします。

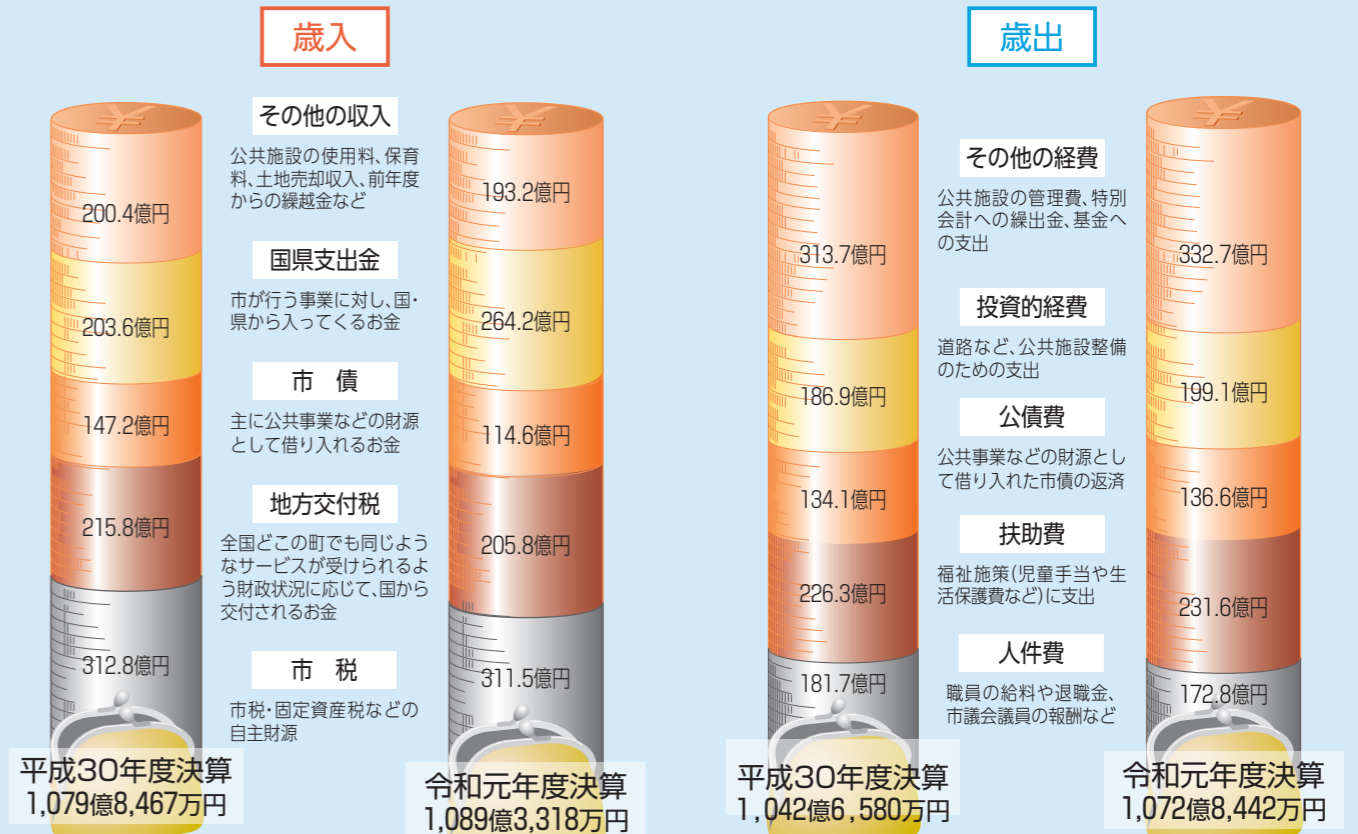
問 財政課 ☎ 25-3188

元年度決算



30年度・元年度の呉市の一般会計決算額を比較すると...

※消費税引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(16億9,713万円)は生活保護などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰出金を加えた社会保障費(一般財源148億9,767万円)に充当しています。



元年度の歳入は、30年度と比べて約10億円増加しました。国庫支出金が約57億円増加し、市債が約33億円減少したことが主な要因です。

元年度の歳出は、30年度と比べて約30億円増加しました。その他の経費が約19億円、投資的経費が約12億円増加したことが主な要因です。